

# 島根県立 吉賀高等学校

YOSHIKA High School

小さな学校で、  
大きな夢を。

学校案内 2025

# 個性と感性を磨く、学び舎



## 地域に暮らして、豊かな生き方を考える

日本屈指の清流・高津川の源流があり、豊かな自然に囲まれた吉賀町。清流の上流にあるからこそ自然を大切にして生きようという地域の人々の想いがあります。吉賀高校はそうした吉賀町にある唯一の高校。地域の子もたちと全国から真の豊かさを求める子どもたちが一つの小さな学校に集まって、勉強やスポーツに、生き生きとした毎日を過ごしています。そして、地域の人々は子どもたちを温かく見守り、応援しています。

—— 吉賀高校は吉賀町と共に生きる高校です。





## 吉賀地域中高一貫教育＋ 全国から真の豊かさを求める生徒たち

吉賀地域は、町内の3つの中学校と連携する中高一貫教育（連携型）の高校です。そして、平成27年度から、町外・県外からの生徒の受け入れを積極的に始めました。

県内の吉賀町以外、また全国から新たな吉高生が着実に増えています。

## サクラマスプロジェクト

サクラマスは、サケ科の魚ですが、川で誕生した後、海に下って大きく成長し、やがて川に戻ってきます。

吉賀町は、保・小・中・高が連携して町全体で、「サクラマスプロジェクト」に取り組んでいます。令和2年度より第二期を迎え、  
『地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる生徒』  
『地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う生徒』  
『地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる生徒』  
『地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける生徒』  
の育成を目指しています。

また、川を町内とするなら、海は広く日本国中を、あるいは世界を意味し、地域や全国から人がこの地に集うプロジェクトとしてさらなる広がりをすすめています。



# 夢への<sup>みち</sup>途は、ここにある

## 年間行事



入学式



県高校総体



文化祭



体育祭



遠足



東京研修 (大学生交流)



東京研修 (東京ディズニーランド)



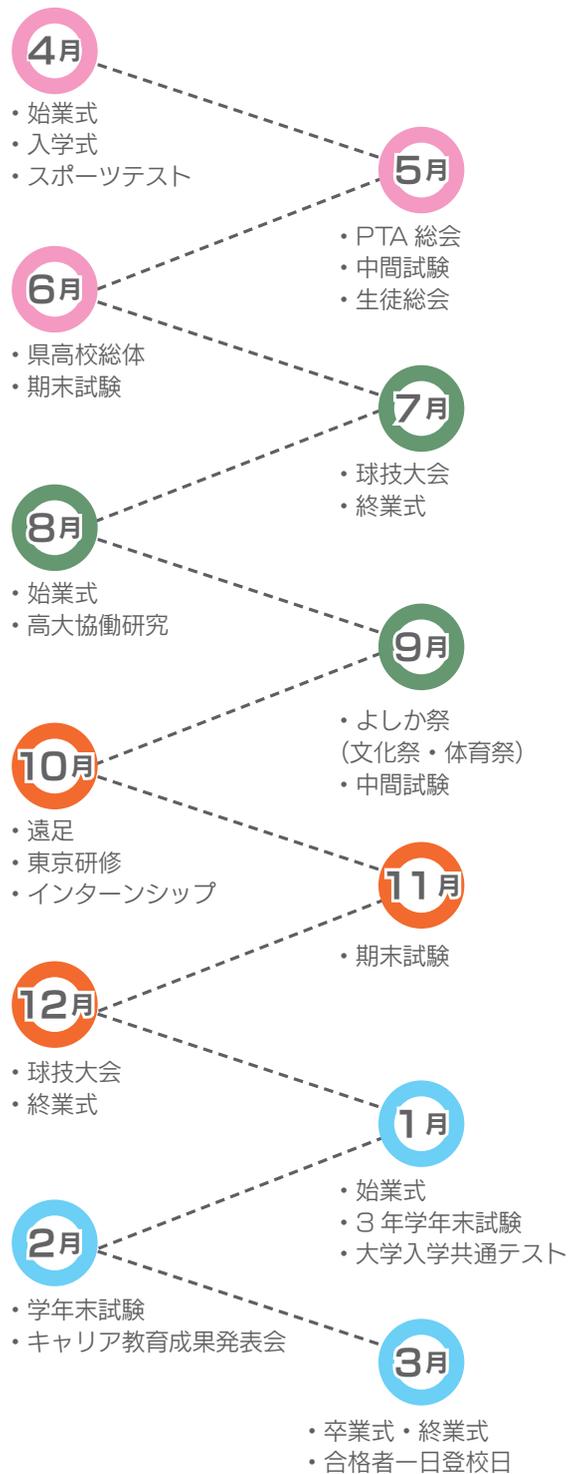
大井谷棚田の稲刈り



吉賀町フェアでの販売



川の生き物の生態調査





## 学習クラウドサービス「スタディサプリ」採用

授業の学習内容に関連した課題をオンライン教材として配信し、月々の学習内容の定着を図るとともに、定期試験や課題テストでその取り組みを確認しています。

また、実用英語技能検定（英検）の対策として、受験する級に応じた課題を配信しています。

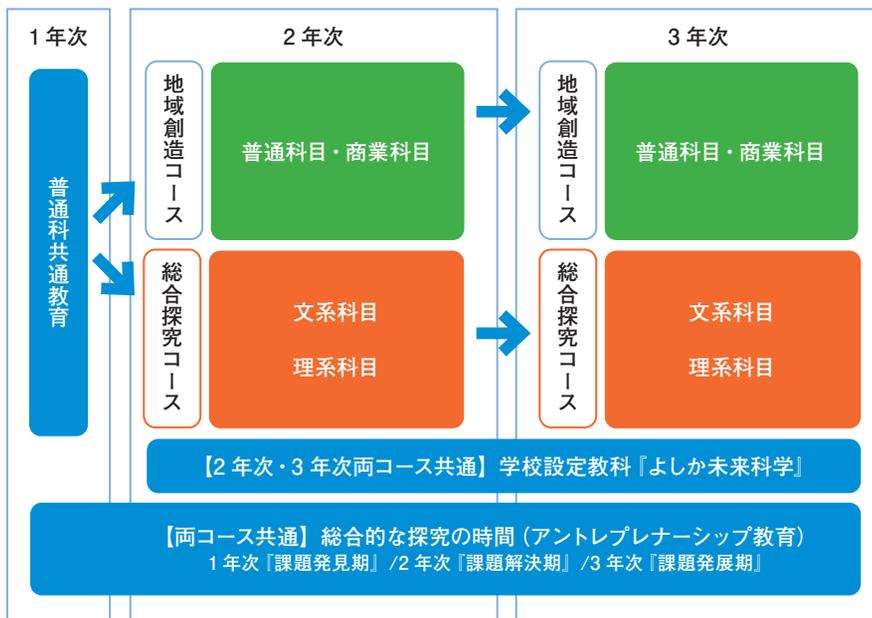
## 少人数指導

授業は、1年次から英・数・国で習熟度別に行っています。さらに、2年生からは進路希望によって2つのコース（下のコース選択図参照）に分かれます。そして、希望者を対象に個別添削指導にも力を入れていて、少人数指導で学力の向上と進路実現を支援しています。

英語や数学がずっと苦手だった生徒が、少人数クラスの授業の中で学ぶ楽しさを知ります。大学進学をめざす生徒には、進路に合わせた指導を行います。



## コース選択図



## 公設塾「よしか塾NEXT」

高校と一体になって吉高生の進路実現を支援する、吉賀町設立の公設塾です。自学自習のサポートを軸に、勉強に向き合うための支援を行っています。

塾のスタッフが高校の授業に参加したり、先生方と情報共有をしたりするなど、連携して吉高生の学びを支えています。



# 自分の可能性が見つかる

キャリア  
教育



## 吉賀高校 サクラマスプロジェクト グランドデザイン

1. 地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
2. 地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
3. 地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる
4. 地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける

吉賀高校では、生徒のキャリア形成に資するため、保小中高とつながる吉賀町サクラマスプロジェクトと連動し、上記4つの力を身につけられるような取り組みを行っています。普段の学習活動や、学校行事、進路活動に加え、アントレプレナーシップ教育などを通じて、吉賀町をフィールドとして、吉賀町の『人・もの・こと』とのコミュニケーションをとりながら、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現する力を身につけていきます。



## 1年生：アントレプレナーシップ教育【課題発見期】 + 東京研修

アントレプレナーとは、「起業家」を意味します。「起業家精神に学ぶ」をテーマとして、「無から有を創り出す精神」を学びます。そして、1年次を「課題発見期」と位置づけ、地域の方に学びながら、地域の課題について探究します。

10月の東京研修では、東京で生活する大学生とコラボレーションします。グループワークや企業訪問を通じて都市の生活を探究すると共に、地方と都市の関係性について考え、自分たちの生まれ育った町・自分たちが暮らす町を見つめ直します。



## 2年生：アントレプレナーシップ教育【課題解決期】

2年生のアントレプレナーシップ教育では、1年生で学んだ吉賀町の魅力や課題をもとに、「未来を創る」プロジェクトを本格的にスタートさせます。「未来を創る」プロジェクトとは、①「こうなしてほしい未来」をイメージし、②個人またはチームで吉賀町の人々とともに行動を起こし、③現実を動かすための挑戦をすることによって、「未来を創る」取り組みです。この「願って、作って、動かす」というプロセスを通して、「自分自身の未来を創る力」を育みます。地元の方と直にふれあひながらのディスカッションや主体的なアクションを大切に、地域貢献の意識を高め、思考力・表現力・コミュニケーション能力などを磨いていきます。



## 3年生：アントレプレナーシップ教育【課題発展期】

豊富な体験学習の経験を基に、自らのキャリア形成に取り組みます。自分の進路を考え、希望を実現する上で、「無から有を創り出す」起業家精神が存分に活かされます。さらに、アントレプレナーシップ教育の集大成として、個別のプロジェクトをさらに進め、7月に最終発表会で全員が3年間の学びをまとめ、発表します。

また12月は『サクラマス・とーく!』と題し、高校生と吉賀町内の小学生が一緒になって、自分のキャリアや今後の将来像について語り合います。



例えば、アントレプレナーシップ教育の成果発表会。吉賀高校では、全員がプレゼンを行います。小規模校だからこそ、全員が主役になるのです。授業でも、行事でも、部活動でも、全員に何らかの活躍の場が与えられます。人間の可能性は、挑戦してみなければわかりません。一人ひとりが、自分の可能性を発見し、成長していく。吉賀高校はそんな学校です。



## 吉高生は、全員が地域クラブ員

吉高生は、全員が地域クラブ員であり、地域の様々な行事に、運営側として参加します。『よしか・夢・花・マラソン』、『田植え・稲刈り』、『七力祭』、『地域の農業収穫祭』・・・いろいろな行事で運営体験やボランティア体験を積み、地域の方とふれあいながら、生きる力を伸ばします。

## 環境教育

2・3年次の学校設定教科『よしか未来科学』では、森・川・里・海、それぞれの専門家から、フィールドワークを交えながら、日本有数の清流・高津川流域を始めとした環境について学びます。

森や里の分野では、山へ行き植林体験を行ったり、川や海の分野では高津川の上流から下流にかけて生物調査を行い、森川里海の自然の繋がりや環境課題を座学と実践の両方から学びます。



「アントレプレナーシップ教育」、「地域クラブ」、「環境教育」、そして学習や行事や部活動・・・  
吉賀高校は、学校でのすべての活動が生徒のキャリア発達につながると考えています。それが、「小さな学校で大きな夢を!」の具体であり、「サクラマスプロジェクト吉賀高校グランドデザイン」に描かれています。

# 自分を磨くさらなるステージへ



## 令和5年度卒業生進路状況

◎進路状況（令和6年3月31日現在）

進学：4年制大学15名 専修学校等9名

就職：民間5名（県内2，県外3）



## 合格先一覧

◎4年制大学【国公立】

○広島大学 ○山口大学 ○島根大学 ○島根県立大学

◎4年制大学【私立】

○城西大学 ○江戸川大学 ○武蔵野大学 ○東京理科大学

○ルーテル学院大学 ○愛知学院大学 ○佛教大学

○近畿大学 ○神戸学院大学 ○環太平洋大学

○倉敷芸術科学大学 ○美作大学 ○九州産業大学

○福岡大学 ○西九州大学

◎専修学校等

○島根リハビリテーション学院 ○玉野総合医療専門学校

○リハビリテーションカレッジ島根

○トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校

○九州観光専門学校 ○大阪プライダル専門学校

○神戸ファッション専門学校 ○ビジュアルアーツ専門学校大阪

○広島情報ITクリエイター専門学校

◎就職【民間】

○株式会社イムロ ○サン電子工業株式会社

○山崎製パン株式会社 ○下野工業株式会社

○株式会社 一門会



### 努力を出しきる

松谷春輝 広島大学 理学部

高校3年春までは、なんとなく行けそうな大学に行こうと思っていました。勉強する習慣がなかったので塾や学校でアドバイスを貰っても学力は伸びませんでした。9月に入ってから行きたい大学ができて、その大学を目標に必死に勉強するようになり、模試の結果が良くなり始めました。

共通テスト本番は、一教科ずつ力を出し切ることを意識して、休憩時間には音楽を聞いてリフレッシュしました。人生で何度もない体験なので、テストでの緊張感も楽しむつもりで受けました。2次試験は緊張せず、あっという間に終わりました。

受験では他の人のアドバイスをよく聞いて下さい。僕は共通テストの前日に過去問を解いてしまい、できないことに焦ってしまいました。前日

は確認だけにした方がよいと思います。次に、できることをやり切るという気持ちでテストに臨むことです。周りの受験生は賢く見えるので、とても緊張しますが、自分のことだけを考えて、今までの努力を出し切ってください。

勉強の範囲はとて多いので、なるべく早く添削などを始めてほしいです。吉賀高校は一人一人をしっかり指導してくれるので、その利点を最大限活用してください。

### アントレで力をつける

山本佳奈 島根県立大学 看護栄養学部



私は島根県立大学に学校推薦で合格しました。管理栄養士として病院で働きたいという思いを持ち、看護学科と連携した授業や病院での実習が充実しているこの大学に魅力を感じました。その中で、自分の進路を実現することができたのは周りの先生方や一緒に頑張ってきた同級生の存在がとても大きかったと感じます。

学校推薦では面接と総合問題の試験がありました。私の受験は、比較的遅い方で周りの進路が決まっていくことに、不安や焦りを感じていました。ですが、受験まで毎日放課後は担当の先生が受験対策をおこなってくださり、たくさんの先生方にさまざまな視点からアドバイスをいただき自分自身の自信へと繋げていくことができました。その結果、本番では自分の力を出し切り後悔なく終えることができました。

吉賀高校ではアントレプレナーシップ教育を

通して自分自身と将来に向き合うことができます。3年間のアントレ発表会などの機会を通し、私は他者に伝える力を身につけることができました。この力は本番の面接の際にも活かすことが出来ました。こうしたアントレの時間を積み重ね、身につけてきた力は進路選択を増やし、自分の進路を実現する際にもきっと大きな糧になると思います。後輩の皆さんには小さな学校だからこそできるさまざまなことにチャレンジし、充実した日々を送って欲しいです。応援しています。

### 様々なことに挑戦を

菱方亨志朗 玉野総合医療専門学校



私は将来、理学療法士になることを目指しています。理学療法士になろうと思ったきっかけは、進路ガイダンスのときに、専門学校の先生が理学療法士のやりがいについて話してくださり、理学療法士という仕事に魅力を感じたからです。

私はAO入試で受験し、1200字の志望理

由書の提出と面接が30分ありました。

志望理由書は、先生に何度も添削をしてもらいました。また、面接では先生方が協力をしてくださり、たくさん練習をすることができました。本番では、専門的な質問をされ戸惑いましたが、アントレを通しての成長した部分についても話し、合格することができました。

そして、私は8月に合格内定を頂いたので、その後は英語検定を受けたり、地域活動に参加

するなど様々なことに挑戦し、残りの高校生活を充実したものにできました。

吉賀高校は少人数だからこそ、先生方との距離が近く、わからないことも聞きやすい環境です。またアントレという授業での地域の方々の関わりや成長も多くあります。なので、高校生活で様々なことに挑戦し、自分にあった進路を見つけてください。

### 弱みを強みに

坂崎愛美香 山崎製パン株式会社



私は元々、福祉系の専門学校に進む予定でしたが、自分の固定観念、執着心が強いところなどが嫌いだったので社会に出て自分の弱みを少しでも強みに変えたいと思い、就職の道を選びました。ですが、当時の私は、行きたいところに行くという思いが強く、担任の意見に聞く耳を持たず、常に迷惑をかけていました。でも先生はこ

んな私を就職先が決まるまで何度も話をして下さり、試験前日には「坂崎は大丈夫だからしっかりやってこい!」と声をかけて下さいました。そして他の先生方にも履歴書作成や試験当日まで面接練習などのサポートをして頂き、本当に感謝しています。また、吉賀高校のアントレプレナーシップ教育は地域の方と関わる機会が増え、コミュニケーション能力や相手を思いやる気持ちを学ぶことができ、本番の面接には自分の長所を伝えつつ、自分の弱みを社会で強みにしてい

きたいという気持ちをしっかり伝えることができました。アントレプレナーシップ教育は私自身を成長させる価値のあるものとなりました。私と関わって下さった方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

後輩の皆さんも自分の嫌なところは1つや2つあると思いますが、その嫌なところをこれから先、どうするかは自分次第になってきます。しっかりと周りの意見を聞いて自分と向き合ってください!ありがとうございます!

# 自身を、マインドを磨く、部活動

少数精鋭の部活動は、新たな自分の可能性を発見するチャンスです。  
また小規模校ながら文化系のクラブも多彩で、生徒はいきいきと部活動に励んでいます。



## サッカー部

吉高サッカー部は素晴らしいサッカーファミリーと共に、「将来、日本のサッカー文化に携わることのできる footballer」を目指して日々活動しています。



## ソフトテニス部

私たちの目標は、個人・団体ともに1勝です。これからも地域の方により報告ができるように精一杯頑張りたいと思います。応援よろしくをお願いします。



## 女子バレーボール部

部員が高い意識を持ち、高いレベルを求め活気ある練習を行っています。地域とのつながりを大切にし、応援していただけるようなチームを目指して頑張っていきます。



## 陸上競技部

「0.1秒でも速く走る」「1cmでも多く跳ぶ」・・・  
こんなシンプルでいて、とても難しい目標を乗り越えようと、生活の中の1つ1つの取り組みを大切にしながら、日々努力を重ねて活動しています。



## 男子バレーボール部

バレーボールを通して、選手としての技術向上はもちろん、礼儀や協調性などの人として成長できるよう、日々全力で取り組んでいます。自分たちの勝利や成長のために何が必要かを考えながら活動することを大切にしています。

吉高生全員が地域クラブ員です。その中のリーダーを中心に、地域のイベントでのボランティア活動や、ライスバーガーの制作・販売を行っています。近年では、アントレともコラボしながら様々な活動を展開しています。さらにかかる分門、硬式テニス、釣り分門など活躍の幅を広げています。今後も多くの出会いや経験を通して、地域活性化に貢献していきます。



### 音楽部

バンド演奏を中心に、地域のお祭りや学校行事などで発表する場があり、地域の方々のご指導やご支援のもと活動しています。



### 美術部

絵画やデザインなど色々な作品に取り組んでいます。とても楽しく活動しており、各自が納得のいく作品を制作するため頑張っています。



### 茶道部

学校でのお点前のお稽古だけでなく、お茶づくり体験など、幅広く活動しています。楽しく、気軽に日本の伝統文化を学ぶことができます。



### 写真部

「撮りたいときに、撮りたいだけ撮る」を方針に掲げ、活動しています。初心者が多い中、コンクールや高校写真展においては入賞もあり日々成長を続けています。



### 華道部

毎回楽しくお花を生けています。生けた後は、自宅や学校に飾ります。水切りなどの専門的な技術や、お花の形を活かした活け方を学びながら、センスを磨いています。



### 文芸部

俳句や詩、小説など自分で好きな作品を創作します。週に2、3回、図書室に集まって各自創作活動を行い、その時に情報交換や作品の鑑賞もします。作品は自分の好きな時に家でも作ることができるので、自分のスタイルに合わせた活動ができます。

## 地域クラブ



かるた



硬式テニス



釣り

# 合言葉は、吉高に「よし！行こう」

## 新入生からのメッセージ

浅尾 周穂 [吉賀町出身 柿木中学校]



僕が吉賀高校を選んだのは、他の高校よりも小規模なため、学習面で分からないことがあれば丁寧に教えてもらえることと、アントレプレナーシップで自分の力を伸ばしたいと思ったからです。

吉賀高校の良いところは、上下関係があまりなく過ごしやすい

ところです。中学校とは異なり様々なところから人が集まるので、新しい交友関係を作れるのもいいところです。

僕の今の目標は、大学進学のための学力をつけることと、部活動で体力を落とすことなく記録を上げていくことです。さらに、アントレプレナーシップで積極的に意見を出すなど、苦手なことでも少しずつ克服していきたいです。

本田 結愛 [益田市出身 中西中学校]



私は将来地域に貢献できる大人になりたいので、地域交流やアントレプレナーシップ教育がある吉賀高校に進学しました。

自分の出身中学校から一緒に行く人もいなくてクラスに馴染めるか不安でしたが、みんなすごく親しみやすく、すぐに友達もで

き、毎日が楽しいです。

4月から寮に入って自分のことは自分でできるようになり、洗濯や掃除の大変さを感じていますが、早くこの生活に慣れもっと自立できるようになりたいです。

吉賀高校は小さな学校だからこそ、先生と生徒の距離も近く、また、分からないことがあれば先輩方が優しく教えてくださいます。

小さな学校だからこそ、他の学校ではできないようなことが吉賀高校にはあると思います。

須藤 来夢 [大分県出身 狭間中学校]



私が吉賀高校を選んだ理由は、少人数でありながら地域外から多くの生徒が集まっており、一人一人の個性を認め合える学校だと感じたからです。実際に入学してからも過ごしやすい雰囲気だと感じています。

私が入学できたのは様々な人の手助けの

お陰だと思っています。その恩を返せるように学校生活を楽しみながら充実した3年間を過ごしたいと思います。入学する前後で色々な不安があると思いますが、学校行事や生活などを通して楽しいことがいっぱいあると思います。

中学生のみなさんが納得した進路選択ができるように応援しています。

鳥山 蓮斗 [吉賀町出身 柿木中学校]



自分が生まれ育った吉賀町でもっと学びを深めていきたいと考え、この吉賀高校を選びました。吉賀高校は、先生や生徒一人一人がとても優しく、お互いに協力し合いながら生活を送れるのが魅力の一つです。また、地域について考えるアントレプレナーシップなどを通して、地域のPRや活性化に繋げることができると考えています。

僕は陸上部に所属して、自己ベストの更新を目標として活動しています。その中で困ったことがあれば先輩方が優しく丁寧に教えてくださいます。まだまだ、入学してて分からないことも沢山ありますが、一日一日がとても楽しいです。分野ごとに授業が分かれ内容も難しくなってきますが、文武両道を目指して生活できるように頑張りたいです。

僕は陸上部に所属して、自己ベストの更新を目標として活動しています。その中で困ったことがあれば先輩方が優しく丁寧に教えてくださいます。まだまだ、入学してて分からないことも沢山ありますが、一日一日がとても楽しいです。分野ごとに授業が分かれ内容も難しくなってきますが、文武両道を目指して生活できるように頑張りたいです。

# 「小さな学校」の多様な学び、 「大きな夢」への自己成長

校長 勝部 千良

清流・高津川の源流の町であり、水とすむまち・吉賀町にある吉賀高校は、開校以来76年の伝統を築き、およそ4500名の卒業生を社会に送り出してきました。吉賀町内の3中学校(柿木・吉賀・六日市中学校)と連携型の中高一貫教育を行っていること、地域や首都圏の大学と連携して「アントレプレナーシップ教育」を進めていること、そして県外からの生徒募集を積極的に行っていることが本校の大きな特徴です。今春は、31名の新入生(そのうち県外生8名)を迎えました。全校生徒95名(そのうち県外生24名)で今年度をスタートしています。

吉賀高校は、「至誠(まじめに)・創造(あらたに)・努力(ひたむきに)」を校訓とし、「小さな学校で大きな夢を!」を合い言葉に、小さな学校だからできること(生徒一人ひとりに役割があり、生徒一人ひとりにスポットライトが当たる教育)を大切に、教育活動に取り組んでいます。



主に県外・町外からの生徒が生活する寄宿舎については、町営の「サクラマス交流センター」が設置されており、全室個室(バス・トイレ付き)、そして地元の食材を使った食事という恵まれた環境の中で、落ち着いた生活を送ることができています。さらに、吉賀町の支援により昨年度より「よしかみらい交流センター」という2つめの寄宿舎の運営が始まっています。

また、放課後の学習の場として、学校近くに公設塾「よしか塾 NEXT」が設置されています。その他にもバス通学補助や部活動遠征のための振興会バスなど、吉賀町からの大きなバックアップのもとで、充実した教育環境が整っています。

吉賀高校は「小さな学校」での多様な学びの経験を通じて、すべての生徒が「大きな夢」を見つけ、育て、実現し、そして自己成長できる学校を目指しています。

## サクラマスコーディネーター

吉賀高校のサクラマスコーディネーター(魅力化コーディネーター)は、吉高生の皆さんの学校生活が少しでも充実した時間になるよう、様々な場面で地域と学校を繋ぎます。吉賀町役場の職員ですが、主に高校や交流センター・地域活動の場面などで動いています。吉高生の皆さんにとって、吉賀町のヒト・モノ・コトを感じながら、卒業後の未来に向けて頑張ることのできる高校生活になるよう、生徒の皆さんと一緒に生活や活動を創っていきます!

## モニュメント「翔」

正門左にあり「東京スカイツリー」のデザインを手掛け、令和2年に文化勲章を受章された吉賀町名誉町民澄川喜一氏により、吉高創立50周年記念として制作されました。校章のモチーフである若鮎を力強くシャープに表現しています。



## 学校沿革

- 昭和 23 年 島根県立益田農林高等学校七日市分校および柿木分校として設置認可(定時制課程)七日市村役場の1部を仮校舎として開校。
- 昭和 38 年 島根県立益田産業高等学校より分離独立し、島根県立吉賀高等学校および同校柿木分校として設置  
校歌制定・作詞は当時松江南高等学校長の木島俊太郎先生、作曲は島根大学の森山俊雄教授  
若鮎をデザインした校章制定
- 昭和 47 年 校訓碑建立、学校庭園完成
- 昭和 48 年 寄宿舎竣工「盛岳寮」と命名
- 平成 2 年 校舎竣工式、創立40周年記念式典挙行、バラ園造成
- 平成 9 年 制服改定(本年入学生より学年進行)  
海外研修旅行(シンガポール)決定
- 平成 13 年 屋内運動場竣工
- 平成 13 年 創立50周年モニュメント設置  
中高一貫教育(連携型)本格導入(対吉賀中学校)
- 平成 15 年 中高一貫教育(連携型)本格導入  
(対蔵木中学校・六日市中学校)

- 平成 18 年 中高一貫教育(連携型)本格導入(対柿木中学校)
- 平成 23 年 サクラマスプロジェクト開始
- 平成 24 年 1年生東京研修開始
- 平成 27 年 キャリア教育成果発表会開始
- 平成 28 年 全国高校生自然環境サミット in 吉賀 開催  
全日本ユース(U-18)フットサル大会出場  
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会出場
- 平成 29 年 サクラマス交流センター竣工  
公設塾「よしか塾 NEXT」開設  
青学大・法政大と高大協働研究開始
- 令和 2 年 第5回全国高校生SBP交流フェア参加 特別賞受賞
- 令和 3 年 「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト佳作受賞
- 令和 4 年 高知インターハイ出場(女子テニスシングルス)  
いちご一会とちぎ国体出場(少年女子テニスの部)
- 令和 5 年 第15回キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰受賞  
全国選抜テニス大会出場(女子個人シングルス)

# 吉賀町の力強い支援



吉賀高校は地域の学校として吉賀町や多くの組織から力強いバックアップを受けています。また、寮機能を重点とした「サクラマス交流センター・よしかみらい交流センター」や、吉高生の進路実現の支援のための公設塾「よしか塾 NEXT」を開設。中山間地の魅力ある高校のために、住環境や学習支援をさらに充実させています。

## 吉高支援室

吉賀町役場総務課内に吉高支援室が設置されています。高校と連携して、物心両面で吉賀高校の教育活動を支えます。

## 公設塾「よしか塾 NEXT」

吉賀高校と一体となって、吉高生の進路実現を支援します。

## バス通学補助

路線バスを利用して通学している吉高生の希望者に回数券を補助しています。バス通学の費用はかかりません。

## 「吉高線」の運行

部活が終了する時間帯に路線バスの運行がないために、吉賀町の働きかけで吉高線が運行されています。

◎ 19:20 吉高前発

(冬季は 19:00 発)

◎ 六日市方面と柿木方面の 2 路線

・基本的にできるだけ自宅近くまで送り届けます。

## 吉賀高校振興会・振興会バス

部活動の遠征等では、振興会バスを利用することができます。バス運行経費、補修費、運転手の賃金、宿泊費等は、ほとんど振興会を通して町が負担します。その他、進路指導や生徒活動も振興会が支援しています。

## 東京研修補助

3泊4日の東京研修のために、町からたくさんの補助をいただいています。

## キャリア教育・地域クラブへの協力

吉賀高校のキャリア教育や地域クラブの活動は、吉賀町の町民の皆さんの協力によって成り立っています。

## サクラマス コーディネーター

吉賀高校の魅力化コーディネーターは、町の職員です。

## 吉賀町の子育て支援

吉賀町では、高校への支援の他に、平成 27 年度から給食費・保育料が完全無償化されました。そして吉賀町の住民であれば、医療費も高校卒業まで全額助成されます。

## 人工芝サッカーグラウンド「よしかみらい」

サッカー部は日頃の部活動で、町営のサッカーグラウンドを使用させていただいています。



# 吉賀町が運営する施設をご紹介します！

## サクラマス交流センター



### 全室個室 (16室×2棟)

全ての部屋が個室で、バス・トイレ付きです。ロフト形式のベッドがあり、学習机、椅子、クローゼットも備え付けです。

### 費用 (令和6年度)

舎費 月額¥36,000 + 水道・光熱費

食事 1日3食 (昼食は弁当)

※くわしくは吉賀高校ホームページにて



## 交流室

交流室は、食堂も兼ねています。食事時間帯以外では、学習したり、他学年と交流することもできます。

## よしかみらい交流センター

### 全16部屋 (1K×9室、2K×6室、3K×1室)

3タイプの部屋があります。各部屋にバス・トイレ・流し台・ベッド・学習机・椅子・衣装ケース付きです。部屋タイプ別に1~3人部屋となります。

### 費用 (令和6年度)

舎費 月額 ¥45,000 (水道・光熱費含む)

食事 1日3食 (昼食は弁当)

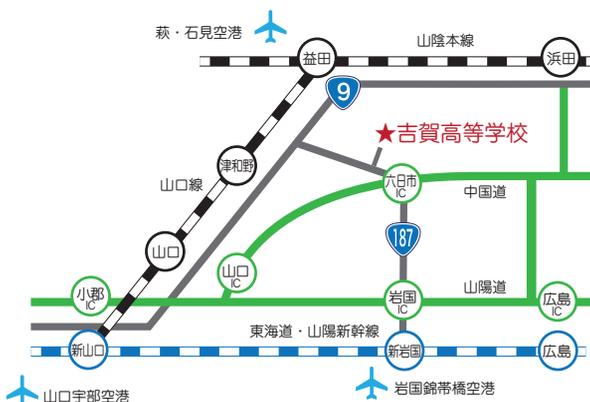
※くわしくは吉賀高校ホームページにて





## 島根県立 吉賀高等学校

〒 699-5522 島根県鹿足郡吉賀町七日市 937 番地  
TEL.0856-78-0029 FAX.0856-78-0742  
E-mail yoshikakoko@pref.shimane.lg.jp  
ホームページ <http://www.yoshika.ed.jp>



シンボルツリー「めたせこいあ」

昭和 29 年に本校柔剣道場横に植樹され、分校時代や吉賀高校として独立後の歴史を見てきました。まっすぐにまっすぐに成長する学校のシンボルです。